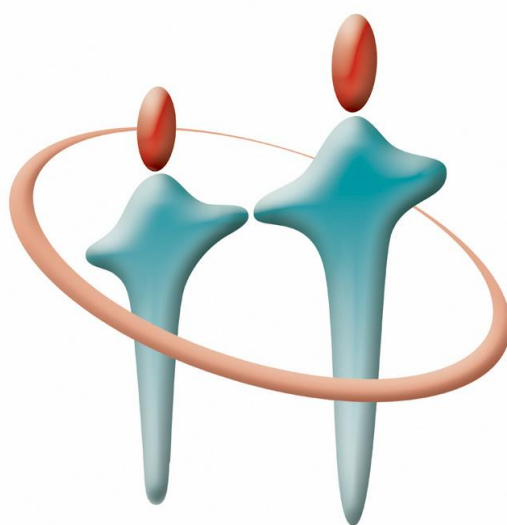


# 2022 年度事業報告/ 活動報告および決算報告



JAPAN SOCIETY OF  
NINGEN DOCK

公益社団法人

日本人間ドック学会

# 目次

## **(事業報告)**

I. 序章(事業計画、役員/社員/会員数等) .....	2
------------------------------	---

## **(公益目的事業)**

II. 第63回日本人間ドック学会学術大会(開催概要、主要プログラム) .....	6
---	---

III. 学会誌等(和文誌、英文誌) .....	14
--------------------------	----

IV. 人間ドック認定医制度(人間ドック認定医第24回認定、第19回更新) .....	14
---	----

V. 人間ドック健診専門医制度(認定試験、指導医・研修施設 認定医数) .....	14
---	----

VI. 人間ドック健診施設機能評価(認定医施設数、サーベイヤー研修会、Ver.4.0 受審準備セミナー) .....	15
--	----

VII. 研修会・人材育成活動 .....	16
-----------------------	----

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成 .....	16
---------------------------------	----

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成 .....	16
----------------------------	----

3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成 .....	17
--------------------------	----

## **(収益事業等)**

VIII. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業 .....	18
--	----

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定 .....	18
----------------------------	----

2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業 .....	18
-----------------------------	----

3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約 .....	18
--	----

4. 新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託集合契約 .....	18
-------------------------------------	----

IX. その他の事業(相互扶助等事業) .....	18
---------------------------	----

1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業 .....	18
--	----

## **(決算報告) 2023年3月31日 現在**

1. 貸借対照表・貸借対照表内訳表 .....	1
-------------------------	---

2. 正味財産増減計算書・正味財産増減計算書内訳表・財務諸表に対する注記 .....	3
--	---

3. 財産目録・附属明細書 .....	8
---------------------	---

# 事業報告

## <事業報告>

### I. 序章

#### 1. 事業計画

##### 1) 学術大会開催に関する事項

第63回日本人間ドック学会学術大会

開催期日：2022年9月2日(金)～3日(土)

WEB開催：2022年9月12日(月)～9月30日(金)

会場：幕張メッセ国際会議場・国際展示場8ホール

テーマ：「女性のための人間ドック」

学術大会長：佐々木寛（医療法人徳洲会千葉徳洲会病院婦人科部長・

東京慈恵会医科大学客員教授）

##### 2) 研修会等開催に関する事項（Webによる配信を基本とする）

- ①人間ドック健診認定医・専門医研修会（学術大会時現地開催とWebによる配信）
- ②人間ドック認定医研修会（Webによる配信）
- ③人間ドック健診施設機能評価Ver.4.0受審準備セミナー開催（Webによる配信）
- ④人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（Webによる配信）
- ⑤人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（Webによる配信）
- ⑥遺伝学的検査アドバイザー研修会（学術大会時現地開催とWebによる配信）
- ⑦人間ドックの日記念セミナー（WEBによる配信）
- ⑧健診施設支援セミナー（年数回WEBによる配信）

##### 3) 人間ドック認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項

（本学会単独事業）

- ①日本人間ドック学会認定医の認定/更新

（日本総合健診医学会との合同事業）

- ①人間ドック健診専門医試験の実施
- ②人間ドック健診専門医の認定/更新
- ③人間ドック健診指導医の（暫定）認定/更新
- ④人間ドック健診研修施設の（暫定）認定/更新
- ⑤セルフトレーニング問題の実施 他

##### 4) 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

- ①人間ドック健診施設機能評価の審査・認定
- ②健診施設支援
- ③サーベイヤーの教育・研修
- ④Ver.5.0作成に向けた検討
- ⑤機能評価認定施設審査結果のデータ整理・統計分析
- ⑥全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

##### 5) 人間ドック健診情報管理指導/遺伝学検査アドバイザーに関する事項

- ①人間ドック健診情報管理指導士の認定/更新
- ②遺伝学的検査アドバイザーの認定

##### 6) 特定健診・特定保健指導等集合契約に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導の集合契約（集合契約A）
- ②風しんの抗体検査および風しんの第6期の定期接種に係る集合契約
- ③新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する集合契約
- ④その他



## 7)健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約
- ②その他

## 8)広報活動に関する事項

- (1) 学会誌「人間ドック」VOL. 37 NO. 1～NO. 5 発刊予定
- (2) 英文誌「Ningen Dock International」VOL. 10 NO. 1～NO. 2 発刊予定  
\* 英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする
- (3) 電子化し、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が構築したJ-STAGEに登載する
- (4) メディア等を利用して国民に向けた意見広告等の広報活動を積極的に展開する

## 9)委員会活動に関する事項

### I. 事業活動

- ①健診施設機能評価・支援事業委員会
  - ・Ver. 5 作成WG
  - ・Ver. 4 運営WG
  - ・施設支援WG
- ②健診情報管理指導士育成事業委員会
- ③人間ドック学会認定医制度委員会
- ④人間ドック健診専門医制度委員会(日本総合健診医学会合同)
  - ・試験問題検討・作成(問題集改訂)小委員会(合同)
  - ・認定小委員会(合同)
  - ・研修会検討小委員会(合同)
  - ・施行規則細則改定小委員会(合同)
  - ・研修プログラムカリキュラム検討作成小委員会(合同)
- ⑤遺伝学的検査アドバイザー育成事業委員会
- ⑥編集委員会
- ⑦広報委員会
- ⑧健診施設実態調査委員会

### II. 健診・予防医療施設の質の向上と発展を支援する活動

- ⑨健診施設支援事業委員会
- ⑩健診事務職の育成に関する検討会
- ⑪がん検診実態調査委員会
- ⑫健診保健師・看護師の育成に関する委員会

### III. 健診・予防医療のシステムや有用性などを研究する活動

- ⑬女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会
  - ・女性健診予防医療WG
- ⑭高齢者のための健診・予防医療のあり方検討委員会
- ⑮健診判定・指導マニュアル作成委員会
  - ・心電図WG、腹部超音波WG、PSA検査WG
- ⑯人間ドック・健診標準化委員会
- ⑰内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会
- ⑱人間ドック・健診イノベーション創造委員会
  - ・ゲノムワイド遺伝学的検査WG/AI実装WG
  - ・リキッドバイオプシー及び新規検査検討WG
  - ・睡眠健診WG
- ⑲健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会

### IV. 健診・予防医療の制度を検討する活動

- ⑳健診予防医療制度に関する対策会議
  - ・特定保健指導制度に関するWG

## V. その他の活動

- ①学術大会運営委員会
- ②健診・予防医療統計調査研究機構設置検討WG
- ③社員選任/役員選定委員会
- ④倫理・利益相反委員会

その他必要とされる委員会は逐次開催する。

### 10)統計・調査に関する事項

- (1) 施設会員実態調査(2021年度)実施の検討
- (2) がん症例調査(2020年度)の実施
- (3) 学術委託研究に関わる研究公募(継続および新規)
- (4) その他
  - ・厚労省等研究事業等に積極的に参画

### 11)関連する学会(団体)との積極的な参画と交流活動

- ・健診団体連絡協議会
- ・日本医学健康管理評価協議会
- ・日本専門医機構
- ・日本高血圧学会
- ・全国労働衛生団体連合会
- ・MEJ(一般社団法人Medical Excellence JAPAN)
- ・日本人間ドック健診協会
- ・日本病院会健診事業推進委員会
- ・日本適合性認定協会臨床検査室認定委員会

### 12)その他

- ・日本医学会加盟への働き掛け
- ・健診標準フォーマットの普及啓発
- ・国際モダンホスピタルショーへの参加

## 2. 役員／社員／会員数等

①役員数等 理事長 1名  
副理事長 1名  
理事 32名  
監事 3名  
(名誉理事長) 1名  
(名誉会員) 23名

②社員数 240名(内役員は36名)

③個人会員／施設会員／賛助会員数(2023年3月31日現在)

A会員(医師)	6,089名
B会員(医師以外)	402名
C会員(施設(医療機関))	1,776施設
S会員(企業など)	30団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数(2023年3月31日現在)

認定医交付人数	6,198名
専門医交付人数	2,089名
研修施設数(累積認定)	349施設
指導医数(累積認定)	1,152名
暫定研修施設(指導医)数	117施設(100名)

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	9,530名(2023年3月31日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名(2023年3月31日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	486施設(2022年3月31日現在)
・遺伝学的検査アドバイザーの累積人数	592名(2023年3月31日現在)

・人間ドック指定数(2023年3月31日現在) 358施設

※内訳

・一日ドック	176施設
・一日ドック・二日ドック両方	182施設

## (公益目的事業)

### II. 第63回日本人間ドック学会学術大会

#### 1. 開催概要

##### 1. 開催日程 (ハイブリッド開催)

【現地開催】 2022年9月2日(金)～3日(土)

【Web開催】 2022年9月12日(月)～30日(金) 19日間

##### 2. 開催会場 幕張メッセ国際会議場

##### 3. 学術大会長 佐々木 寛

(医療法人徳洲会千葉徳洲会病院婦人科部長/東京慈恵会医科大学客員教授)

##### 4. メインテーマ 女性のための人間ドック

##### 5. 開催内容

学術大会長講演	1セッション (1演題)
理事長講演	1セッション (1演題)
特別講演	5セッション (5演題)
要望講演	9セッション (10演題)
教育講演	10セッション (10演題)
シンポジウム	3セッション (15演題)
ワークショップ	5セッション (18演題)
特別企画	7セッション (26演題)
委員会企画	6セッション (10演題)
遺伝学的アドバイザー研修会	1セッション (5演題)
人間ドック健診認定医・専門医研修会	1セッション (3演題)
一般演題 (プレナリー含む)	101セッション (321演題)
(内 プレナリー10演題・口頭発表199演題・ポスター発表58演題・大会企画54演題)	
共催セミナー	19セッション (35演題)
計	169セッション (460演題)

##### 6. 参加登録者数 ※9月21日(水)現在 5,594名 (内有料4,502名)

オンライン参加登録 4,125名 (会員医師2,912名・会員非医師854名・非会員359名)

現地当日参加登録 377名 (会員医師90名・会員非医師168名・非会員119名)

招待者 270名

共催セミナー企業 (19社) 123名

展示企業 (105社) 699名

##### 7. 現地会場参加人数

9月2日(金) 1,385名

9月3日(土) 1,018名 2日間延べ 2,403名

##### 8. 市民公開講座「親子で考えるがん予防ワクチン」

LIVE配信 参加者 約150名

アーカイブ配信 9月12日(月)～30日(金)

## 2. 主要プログラム

### ■ 開会式

#### ■ 理事長講演

「バリュープロポジションを意識した人間ドック学会の活動」

座長：村上 正巳（群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学 教授）

演者：荒瀬 康司（日本人間ドック学会 理事長／

虎の門病院 健康管理センター・画像センター 顧問）

#### ■ 学術大会長講演・対談

「女性のための人間ドック—子宮頸がん撲滅のための全世界的取り組み—」

座長：相澤 孝夫（社会医療法人財団慈泉会 理事長）

演者：佐々木 寛（医療法人徳洲会千葉徳洲会病院 婦人科部長／東京慈恵会医科大学 客員教授）

対談：三原じゅん子（参議院議員・前厚生労働副大臣）

#### ■ 特別講演

「今、求められる医学・医療とは」

座長：村上 正巳（群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学 教授）

演者：門田 守人（日本医学会 会長／堺市立病院機構 理事長）

#### ■ 特別企画1

厚生科研「女性特有の疾病に対する健診等による介入効果の評価研究」

座長：平池 修（東京大学大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座 准教授）

杉森 裕樹（大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授）

演者：「女性特有の疾患に対するアプローチ方法の検討」

平池 修（東京大学大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座 准教授）

「ウェブサイトを通じた月経前症候群の啓発および受診勧奨の効果」

前田 恵理（秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 准教授）

「検診の費用対効果評価・価値評価」

五十嵐 中（横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授／

東京大学大学院薬学系研究科・医薬政策学 客員准教授）

「女性のがん検診の需要行動に関する研究」

平尾 磨樹（東京都済生会中央病院 血液内科 医員）

#### ■ 特別講演2

「がん医療最前線～がんを治し、患者を支える～」

座長：佐々木 寛（医療法人徳洲会千葉徳洲会病院 婦人科部長／東京慈恵会医科大学 客員教授）

演者：山口 建（静岡県立静岡がんセンター 総長）

#### ■ 特別講演3

「女性向け健診クリニック「イーク」の再生—経営破綻から「選ばれるドック」への転換—」

座長：那須 繁（日本人間ドック学会 副理事長／特定医療法人財団博愛会 理事長）

演者：大石佳能子（医療法人社団プラタナス 総事務長）

#### ■ 特別企画5

「医療保険者の取り組みと健診機関への期待」

座長：高谷 典秀（医療法人社団同友会 理事長）

六路 恵子（全国健康保険協会本部 参与）

演者：「資生堂健康保険組合における健診事業の現状と課題ならびに健診機関への期待」

岡 良廣（資生堂健康保険組合 常任理事）

「JAL グループにおける女性の健康」

浦井 典子（日本航空健康保険組合 常務理事）

「総合健保・企業・健診機関が協働で進める」～今後の中小企業における健康経営～

富山紀代美（デパート健康保険組合 保険事業部長）

「医療保険者として全国健康保険協会（協会けんぽ）から健診機関へ期待すること」

山崎衣津子（全国健康保険協会千葉支部 保健グループ）

## ■ 特別企画2

厚労科研「我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査の評価と課題」

### 【評価編】

座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

加藤 公則（新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授／  
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 理事）

演者：「公衆衛生学的観点からみた人間ドックの健康診査としての評価」

和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

「新潟県における人間ドックの健康診査としての評価」

加藤 公則（新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授／  
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 理事）

「人間ドックデータベースを活用した人間ドック健診の優位性の評価」

川野 伶緒（広島大学病院 総合医療研究推進センター 診療准教授）

「腹部超音波検診判定マニュアルによる腹部超音波検査の精度向上の検証」

平井都始子（奈良県立医科大学 総合画像診断センター 病院教授）

「離散選択実験を用いた健診・検診の選好の分析」

後藤 励（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

## ■ 特別企画4 14:10～15:40

厚労科研「我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査の評価と課題」

### 【課題編】

座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

杉森 裕樹（大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授）

演者：「わが国のがん検診提供体制の課題と人間ドックの役割」

祖父江友孝（大阪大学大学院医学系研究科医学部 社会医学講座 環境医学 教授）

「人間ドックの産業保健における役割」—受託者、受診者調査の結果—

立道 昌幸（東海大学医学部基盤診療学系 衛生学公衆衛生学 教授）

「人間ドックにおける年代別眼圧値（眼科検査項目としての課題）」

中野 匡（東京慈恵会医科大学 眼科学講座 主任教授）

「人間ドックにおける法定外（オプション）検査に関する調査研究」

杉森 裕樹（大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授）

## ■ シンポジウム2

「人間ドックで評価するフレイル、ロコモティブシンドローム—その意義と将来性について—」

座長：加藤 公則（新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授／  
一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 理事）

瀧澤 弘隆（柏戸記念財団ポートスクエア柏戸クリニック 顧問）

演者：「人間ドックで評価するフレイルの意義を考える」

佐竹 昭介（国立長寿医療研究センター 老年内科部長）

「女性のためのフレイル予防」

—人間ドックにおける閉経後骨粗鬆症、フレイル等の発症及び予防に関する研究—

瀧澤 弘隆（一般財団法人 柏戸記念財団 ポートスクエア柏戸クリニック 顧問）

「社会的処方としての総合型地域スポーツクラブによるフレイル予防」

—新潟県魚沼市における20年間の取り組み—

上村 伯人（上村医院 院長）

「高齢者のフレイル・低栄養予防に対する実践」—神奈川県大和市の活動について—

長谷川未帆子（大和市役所健康福祉部健康づくり推進課地域保健活動担当主査・管理栄養士）

「フレイル対策」

山田 実（筑波大学人間系障害科学 教授）

「体力測定からわかる将来の疾病発症予測」—フレイル予防へのヒント

加藤 公則（新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授／  
一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 理事）

### ■ 特別企画3

「事務職・営業職のグループワーク」（共催：日本人間ドック健診協会）

—With/After コロナの施設運営—

### ■ シンポジウム1

「発がんリスクを考慮した人間ドックにおけるがん検診」

座長：井上 和彦（淳風会健康管理センター センター長）

中尾 治彦（佐世保中央病院 健診センター長）

演者：「発がんリスクを考慮した人間ドックにおけるがん検診」—ハイリスク者への肺がん検診—

西井 研治（岡山県健康づくり財団附属病院 院長）

「H. pylori 感染状態から見た胃がんリスク」

鎌田 智有（川崎医科大学総合医療センター 健康管理学 センター長）

「腹部超音波検診判定マニュアル 2021」を活用した人間ドックにおけるがん検診

小川 眞広（日本大学病院 消化器病センター 超音波検査室 室長）

「発がんリスクに応じた前立腺がんオーダーメイド検診」

伊藤 一人（医療法人社団美心会黒沢病院 院長 兼 予防医学研究所 所長）

「ヒトパピローマウイルス（HPV）による子宮頸がんの発生過程とそれに基づくがん検診のポイント」

川名 敬（日本大学医学部附属板橋病院 産科・婦人科 主任教授）

### ■ 委員会企画1

健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会

「学術委託研究と人材発掘新プロジェクト報告」

座長：福井 敏樹（オリーブ高松メディカルクリニック 院長）

森山 優（医療法人大宮シティクリニック 副所長）

### ■ ワークショップ1

「これからの女性スポーツ医学を考える」

座長：能瀬さやか（東京大学医学部附属病院 小児・周産・女性科診療部門 助教）

木口 一成（医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院 ドック・健診センター）

演者：「スポーツ内科」と「スポーツ貧血」～まずは存在を知ることから～

田中 祐貴（ゆうき内科・スポーツ内科 院長）

「女性のライフステージと食生活における「やせ」の問題」

小清水孝子（大妻女子大学 家政学部食物学科 教授）

「スポーツによる骨量への影響」～骨粗鬆症の予防に向けて～

能瀬さやか（東京大学医学部附属病院 小児・周産・女性科診療部門 助教）

「スポーツ活動が女性の健康に及ぼす影響について」

中村真理子（国立スポーツ科学センター スポーツ科学部 研究員）

### ■ ワークショップ3

「これだけは知っておきたい検診に必要な乳癌の診断・治療」

座長：土屋 眞一（飯田病院 副院長）

武井 寛幸（日本医科大学付属病院 乳腺外科学講座 教授）

演者：「検診におけるマンモグラフィ」

村上 隆介（日本医科大学健診医療センター 所長）

「乳がん検診のエビデンスに基づいた最適な方法」

武井 寛幸（日本医科大学付属病院 乳腺外科学講座）

「これだけは押さえておきたい乳がん検診」～超音波の役割～

坂井 威彦（がん研究会有明病院 乳腺センター 副部長）

### ■ 要望講演4

「がん検診における細胞診の意義—子宮頸がん、肺がんを中心に—」

座長：佐藤 之俊（北里大学医学部呼吸器外科学 主任教授）

演者：中山 富雄（国立がん研究センターがん対策研究所 検診研究部 部長）

■ 要望講演 5

「子宮頸がん検診における HPV 検査導入に際して」

座長：小田 瑞恵（こころとからだの元氣プラザ 婦人科診療部長）

演者：青木 大輔（慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 教授）

■ ワークショップ 2

「精検受診率の向上と精検結果の正しい把握をめざして」

座長：井上 和彦（淳風会健康管理センター センター長）

福井 敏樹（オリーブ高松メディカルクリニック 院長）

演者：「がん検診における精検受診状況のモニタリングの重要性と課題について」

加藤 勝章（宮城県対がん協会がん検診センター 会長）

「高血圧、糖尿病精検受診率の向上のためには」

藤川 るみ（グランドタワーメディカルコート 副所長・外来診療部長）

「総合労働衛生機関施設内の医療連携室の取り組み」

大橋 敦子（一般財団法人淳風会 医療連携室）

「プロセス指標から見えた課題」～精検受診率向上と未把握率減少にむけた取り組み～

土屋易寿美（聖隷福祉事業団 保健事業部 精度管理センター 課長）

■ 要望講演 1

「脳卒中・循環器病対策基本法成立後循環器病診療はどう変わるか？」

座長：高谷 典秀（医療法人社団同友会 理事長）

演者：小室 一成（東京大学医学部附属病院循環器内科 教授）

■ 要望講演 3

「がん検診の精度管理における基準値変更について」

座長：木口 一成（医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院 ドック・健診センター）

演者：高橋 宏和（国立がん研究センターがん対策研究所 検診研究部 室長）

■ 教育講演 6

「乳房検診判定マニュアル発行に際して」

座長：足立 雅樹（埼玉医科大学予防医学センター 客員教授・顧問）

演者：櫻井 健一（日本歯科大学附属病院 外科学講座（乳腺内分泌外科学）教授）

■ 特別企画 6

「人間ドック診療における安全実施基準策定に向けて」

【学術大会運営委員会企画】

座長：岩男 泰（慶應義塾大学病院 予防医療センター 特任教授）

演者：人間ドックにおける安全実施基準策定にむけて

和田 高士（東京慈恵会医科大学医学部 客員教授）

「人間ドック診療における安全実施基準策定に向けて-上部消化管内視鏡検査-」

井上 和彦（淳風会健康管理センター センター長）

「人間ドック診療における安全実施基準策定にむけて」

-胃 X 線検診安全基準 第 2 版 完成までの道程-

小田 丈二（東京都がん検診センター 消化器内科部長）

「呼吸機能検査」

東條 尚子（東京都教職員互助会三楽病院 臨床検査科 部長／

公益財団法人日本予防医学事業中央会 技術委員会）

■ 教育講演 1

「がん検診の精度管理の考え方」

座長：大村 峯夫（こころとからだの元氣プラザ 理事）

演者：森定 徹（杏林大学医学部産科婦人科 准教授）



■ 教育講演 2

「脂質異常症—性差の視点を踏まえて—」

座長：長尾 啓一（柏戸記念財団ポータルスクエア柏戸クリニック 所長）

演者：横手幸太郎（千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学 教授）

■ 教育講演 3

「女性の検査の特徴について」

座長：村上 正巳（群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学 教授）

演者：東條 尚子（三楽病院 臨床検査科 部長）

■ 要望講演 2

「見逃していませんか、女性の睡眠時無呼吸症候群」

座長：亀井 徹正（湘南藤沢徳洲会病院 病院総長）

演者：近藤 哲理（湘南藤沢徳洲会病院 人間ドック・健診センター長）

■ 教育講演 4

「健診（検診）における遺伝学的検査の有用性と課題—遺伝性腫瘍を中心に—」

座長：鈴木 公典（ちば県民保健予防財団 総合健診センター長）

演者：野村 文夫（ちば県民保健予防財団 学術顧問・遺伝子診療科部長）

■ 教育講演 5

「性別不合／性同一性障害当事者と人間ドック」

座長：杉森 裕樹（大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授）

演者：中塚 幹也（岡山大学大学院 看護学専攻 教授／岡山大学ジェンダークリニック）

■ ワークショップ 4

「コロナ禍におけるメディカルツーリズム」

座長：糸井 隆夫（東京医科大学病院 副院長・消化器内科主任教授・診療科長）

飯塚 陽子（東京大学大学院医学系研究科 特任講師）

演者：「COVID-19 流行下で当院を受診するインバウンド患者の実態と課題の検討」

李 嵐（東京医科大学病院 国際診療部 副部長）

「コロナ禍におけるメディカルツーリズム」

申 智瓊（株式会社セントルシアヘルスケアジャパン）

「メディカルツーリズムにおけるレジリエンス」

佐々木ひと美（藤田医科大学国際医療センター 臨床教授）

「コロナ禍におけるメディカルツーリズムの将来について」

黄 菊坤（Neusoft 医療 日本業務発展総監）

「外国人を対象とした人間ドックの在り方：コロナ禍とその後を見据えた一考察」

西沢 光明（札幌東徳洲会病院 国際医療支援室 課長）

■ 委員会企画 5

健診施設機能評価・支援事業委員会

「受けてよかった機能評価」

○ 2021 年度認定施設による発表

座長：石坂 裕子（三井記念病院 総合健診センター センター長）

新 智文（JA 北海道厚生連帯広厚生病院 副院長）

村田 雅彦（秋田赤十字病院 健診部）

<新規賞>

- ・医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院つくばトータルヘルスプラザ
- ・医療法人 親愛 天神クリニック ヘルスケアセンター ディア天神
- ・社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院 健診センター

<優秀賞>

- ・三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院 健診センターオーリーブ
- ・一般財団法人 京都工場保健会 総合健診センター
- ・地方独立行政法人 長野県立病院機構 長野県立信州医療センター

○機能評価受審相談デスク

事前予約制 (学会ホームページより <https://www.ningen-dock.jp/kinouhyoukakikaku>)

■ 特別講演 4

「子宮頸がん予防 ～日本の課題～」

座長：石坂 裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

演者：宮城 悦子 (横浜市立大学附属病院産婦人科 部長)

■ 特別講演 5 9:40 ～ 10:40

「ウィズコロナ時代のデータ医学」

座長：荒瀬 康司 (日本人間ドック学会 理事長)

虎の門病院 健康管理センター・画像センター 顧問

演者：永井 良三 (自治医科大学 学長)

■ 閉会式

プレナリーセッション最優秀口演・ポスター (学術大会賞) 表彰式

■ 認定医・専門医研修会

■ 第5回遺伝学的検査アドバイザー研修会

■ 特別企画 7

「標準化された健診データによる医療 AI の開発」

座長：和田 高士 (東京慈恵会医科大学医学部 客員教授)

吉田 澄人 (日本医師会総合政策研究機構 研究部統括部長補佐)

演者：「標準化された健診データによる医療 AI の開発」

吉田 澄人 (日本医師会総合政策研究機構 研究部統括部長補佐)

「健診データにおける医療 AI の開発」

和田 高士 (東京慈恵会医科大学医学部 客員教授)

「内閣府「AI ホスピタル」プロジェクト」

中村 祐輔 (国立研究開発機構 医療基盤・健康・栄養研究所 理事長)

「フレイルの危険因子の早期発見とプレフレイル予防：DX に向けた課題」

鳥羽 研二 (東京都健康長寿医療センター 理事長)

「標準化された健診データによる医療 AI の開発 期待と展望」

石見 拓 (京都大学大学院医学研究科・医学部予防医療学 教授)

■ シンポジウム 3

「生活習慣病の性差と予防」

座長：天野 恵子 (静風荘病院 女性内科・女性外来)

小西 明美 (千葉西総合病院 健康管理センター長)

演者：「性差医療の現況と、生活習慣病予防に向けての展望」

天野 恵子 (静風荘病院 女性内科・女性外来)

「女性の心臓疾患の特徴」

河野 宏明 (熊本大学大学院 生命科学研究部 臨床看護学講座 教授)

「脳神経疾患の性差と予防」

井川 房夫 (島根県立中央病院 脳神経外科 部長)

「日常診療における性差を考慮した「生活習慣病」への対応」

佐久間一郎 (カレスサッポロ北光記念クリニック 所長)

- 要望講演 8  
 「女性に健康をもたらす登山」  
 座長：吉田 泰行（栗山中央病院 耳鼻咽喉科）  
 演者：井出 里香（東京都立大塚病院 耳鼻咽喉科・睡眠呼吸障害センター 医長）
- 委員会企画 3  
 健診保健師・看護師の育成に関する委員会  
 「やっぱり楽しい健診看護 2022 ～健診看護ラダーを作ろう！！～」  
 座長：新 智文（JA 北海道厚生連帯広厚生病院 副院長）
- ワークショップ 5  
 「膵臓がん確定診断における新たな取り組み」  
 座長：佐々木 寛（医療法人徳洲会千葉徳洲会病院 婦人科部長／東京慈恵会医科大学客員教授）  
 宇津木久仁子（がん研有明病院 健診センター 検診部部长）  
 演者：「線虫がん検査 N-NOSE の発明と実用化」～すい臓がん特定検査の開発～  
 廣津 崇亮（株式会社 HIROTSU バイオサイエンス 代表取締役社長／クイーンズランド工科大学）  
 「ハイリスク受診者に対する MRI/MRCP 検査を用いた膵がん検診の試み」  
 内田 靖子（公益財団法人がん研究会有明病院 健診センター 副部长）
- 要望講演 9  
 「第 4 期特定健診・特定保健指導に向けた今後の展望について」  
 座長：杉森 裕樹（大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学部 看護学科 教授）  
 演者：田邊 和孝（厚生労働省健康局健康課 女性の健康推進室 室長）
- 委員会企画 4  
 健診情報管理指導士育成事業委員会  
 「みんなの保健指導 淳風会健康管理センター」  
 座長：武藤 繁貴（社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長）  
 演者：「総合労働衛生機関としての役割と強みを活かした保健指導サービスへの取り組み」  
 遠藤 恵子（一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター 保健指導部部长）
- 委員会企画 2  
 内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会  
 「スクリーニングエキスパートに学ぶ：消化器がんを的確に拾い上げるために」  
 座長：井上 和彦（淳風会健康管理センター センター長）  
 演者：「食道がんを見落とさない内視鏡検査」  
 吉村 理江（人間ドックセンターウェルネス ウィメンズウェルネス天神 所長）  
 「胃がんを見落とさない効率的、高精度な内視鏡スクリーニング検査」  
 間部 克裕（淳風会健康管理センター倉敷 センター長）  
 「人間ドックに求められる精度の高い大腸内視鏡検診」  
 野崎 良一（のぞき消化器 IBD クリニック 院長）
- 要望講演 7  
 「COVID-19 下のがん検診の現況」  
 座長：金子 昌弘（東京都予防医学協会 学術顧問）  
 演者：山口 和也（ちば県民保健予防財団 診療科部長）
- 要望講演 6  
 「非造影乳房 MRI (DWIBS) 検診の意義と今後の展開について」  
 座長：中島 留美（医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 予防医学センター長）  
 演者：「非造影乳房 MRI (DWIBS) 検診の意義と今後の展開について」  
 ー当施設における 425 名の検診成績からー  
 大塚亜沙未（医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 予防医学センター）  
 「MRI によるがんスクリーニング検査」  
 ーリスク検査の 2 次スクリーニングとしての全身 DWIBS の現況と痛くない乳がん検診の実践ー  
 高原 太郎（東海大学工学部医用生体工学科 教授／株式会社ドゥイブス・サーチ）

#### ■ 教育講演 7

「スポーツ障害のメディカルチェック」

座長：稲次 潤子（リソルの森メディカルトレーニングセンター）

演者：大内 洋（亀田メディカルセンター スポーツ医学科）

#### ■ 教育講演 9

「一日も早いわが国からの胃がん撲滅をめざして」

座長：芳野 純治（大名古屋ビルセントラルクリニック 院長）

演者：井上 和彦（淳風会健康管理センター センター長）

#### ■ 教育講演 8

「女性に多い肝臓病」

座長：新 智文（JA 北海道厚生連帯広厚生病院 副院長）

演者：銭谷 幹男（赤坂山王メディカルセンター 院長／国際医療福祉大学  
臨床医学研究センター）

#### ■ 教育講演 10

「リスク層別化乳がん検診」

座長：明石 定子（東京女子医科大学 乳腺外科 教授）

演者：植松 孝悦（静岡県立静岡がんセンター 乳腺画像診断科 部長）

### III. 学会誌等

#### 1. 和文誌「人間ドック」 （年 5 回）

VOL. 37 NO. 1 2022. 6（原著論文集/学術大会開催案内）

VOL. 37 NO. 2 2022. 8（学術大会プログラム・抄録集）

VOL. 37 NO. 3 2022. 9（原著論文集）

VOL. 37 NO. 4 2022. 12（原著論文集/学術大会開催案内）

VOL. 37 NO. 5 2023. 3（原著論文集/学術大会開催案内）

#### 2. 英文誌「Ningen Dock International」 （年 1 回）

VOL. 10 NO. 1 2023. 3（原著英文誌）

### IV. 人間ドック認定医制度

#### 1. 第 24 回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、2022 年 4 月 1 日以降の認定者数は 181 名であり、認定医交付総数として 6,198 名となった。

#### 2. 第 19 回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、2022 年 4 月 1 日以降の更新者数は 263 名であり、更新者総数は 5,015 名である。

### V. 人間ドック健診専門医制度

#### 1. 2022 年度人間ドック健診専門医認定試験（日本総合健診医学会との合同 10 回目）

日 時：2022 年 10 月 16 日（日） 13:00～15:00

会 場：品川フロントビル 地下 1 階会議室（東京都港区港南 2-3-13）

受験対象者：日本人間ドック学会 92 名（日本総合健診医学会：16 名）両学会合計 108 名

試験内容：試験問題集等 計 100 問出題 100 分間 マークシート方式による筆記試験

◆認定者数：日本人間ドック学会 91 名（日本総合健診医学会：16 名）両学会合計 107 名

認定期間は、2023 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日 5 年間とする。

【人間ドック健診専門医認定者数（ドック学会累計）：2,089 名】

## 2. 2022 年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

- ◆指導医：ドック学会 120 名（総合健診医学会：23 名）両学会合計 143 名
- ◆研修施設：ドック学会 13 施設（総合健診医学会：9 施設）両学会合計 22 施設
- ◆暫定指導医：ドック学会 3 名（総合健診医学会：9 名）両学会合計 12 名
- ◆暫定研修施設：ドック学会 6 施設（総合健診医学会：9 施設）両学会合計 15 施設  
委嘱認定期間は、2023 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日 5 年間をもって委嘱終了とする。

## VI. 人間ドック健診施設機能評価

2023 年 3 月末現在、691 施設からの受審申請があり、うち新規認定を取得した施設は 485 施設である。新規認定 485 施設のうち、更新を辞退した施設は 69 施設あり、現在有効な認定施設は 413 施設である。なお、認定取得に向け受審準備中等の施設は現在約 200 施設ある。認定施設は 45 都道府県と台湾、中国に分布している。

### 1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数

【認定施設の分布 \*2023 年 3 月末現在。更新辞退施設を除く】

北海道	13	東京都	65	滋賀県	3	香川県	6
青森県	2	神奈川県	22	京都府	17	愛媛県	5
岩手県	3	新潟県	7	大阪府	30	高知県	2
宮城県	9	富山県	4	兵庫県	14	福岡県	17
秋田県	4	石川県	5	奈良県	3	佐賀県	0
山形県	3	福井県	4	和歌山県	2	長崎県	4
福島県	3	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	5
茨城県	5	長野県	15	島根県	2	大分県	3
栃木県	8	岐阜県	7	岡山県	12	宮崎県	1
群馬県	7	静岡県	10	広島県	10	鹿児島県	4
埼玉県	14	愛知県	25	山口県	2	沖縄県	17
千葉県	17	三重県	8	徳島県	2	海外(台湾)	3

### 2. サーベイヤー研修

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、来場形式での実施を控えていたが、今年度は約 3 年ぶりに来場型での研修交流会を開催することとなった。

- 開催日時：2023 年 1 月 21 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分
- 会場：赤坂インターシティ AIR 4F「401」
- 参加費：無料 ※学会旅費規程に則り交通費補助金をお支払い
- 担当委員：健診施設機能評価・支援事業委員会
- 参加者：47 名（医師サーベイヤー 13 名／事務系サーベイヤー 29 名／その他 5 名）

#### ■プログラム

1. 開会挨拶（委員長挨拶、Ver5.0 骨子案説明）：石坂裕子
2. 委員会報告「2022 年度委員会活動報告」：新智文
3. 研修 1「報告書作成について」：渡川勲
4. 研修 2「個人情報保護法改正の健診施設への影響」：笠原典彦

5. 研修3「リモート審査の実施状況について」：岩崎真也
6. グループワーク（テーマ：リモート審査の円滑な実施に向けて）
7. 閉会挨拶：村田雅彦

### 3. Ver. 4.0 受審準備セミナー（オンデマンド配信）

受審（希望）施設を対象に Ver.4.0 受審準備セミナーを開催した。  
 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、参加者の健康と安全を最優先に考慮し、WEB  
 セミナー（オンデマンド配信）とした。

回	配信期間	参加者数
第1回	2022年4月22日(金)～5月31日(火)	17施設
第2回	2022年7月15日(金)～8月31日(水)	13施設
第3回	2023年1月13日(金)～2月28日(火)	20施設

## VII. 研修会・人材育成活動

### 1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

#### ●第60回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

配信期間：2022年9月12日（月）～9月30日（金）  
 方 法：現地開催（幕張メッセ）とWEB オンデマンド配信  
 参加者数：1,595名（ドック学会認定医等1049名・専門医546名、うち総合健診専門医30名）  
 うち現地参加は140名  
 「人間ドックで求められる胃がん検診の精度管理について」  
 「日本医学会 COI 管理ガイドライン：知っておくべき最近のトピックス」  
 「糖のながれのその先へ～未来を護るベストチョイス～」

#### ●第61回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

配信期間：2022年11月21日（月）～12月5日（月）  
 方 法：WEB オンデマンド配信  
 参加者数：1,256名（ドック学会認定医等780名・専門医476名、うち総合健診専門医29名）  
 「肺癌を見落とさないための胸部X線の読影力とは!? ～意識改革から系統読影法の習得まで～」  
 「高尿酸血症と低尿酸血症」  
 「医療の安全とチーム医療」

### 2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

#### ●人間ドック健診情報管理指導士 研修会 （対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	配信期間	方 法	認定者	内 訳
第38回	2022年6月3日（金） ～7月4日（月）	オンデマンド配信	432名	医師：72名 保健師：228名 管理栄養士：51名 （修了者：81名）
第39回	2023年1月20日（金） ～2月20日（月）	オンデマンド配信	354名	医師：56名 保健師：200名 管理栄養士：40名 （他修了者：58名）

#### 【2022年度 オンデマンド配信版プログラム】

- 『特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み』
- 『生活習慣病やメタボリックシンドロームに関する知識』
- 『エネルギー収支を改善するための保健指導』
- 『食生活に関する保健指導の実際』
- 『身体活動に関する保健指導の実際』
- 『特定健診・特定保健指導における保険者との連携』
- 『行動変容に関する理論と実践』

『喫煙・飲酒習慣者への保健指導』  
 『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』  
 『人間ドック健診におけるがん検診その現状と展望』

演習：保健指導方法の研究  
 『初回面接のビデオ学習による演習』  
 『初回面接の記録について』  
 『継続支援の電子メール（ビデオ対象者に対する継続支援）』  
 ○受講者からの質問への回答と演習のフィードバック配信（後日配信）

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会（オンデマンド配信）  
 （対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	配信期間	参加者数	内 訳
第 65 回	2022 年 8 月 25 日（木）～9 月 12 日（月）	677 名	医師：209 名 保健師：315 名 管理栄養士：143 名
第 66 回	2022 年 11 月 8 日（火）～11 月 24 日（木）	299 名	医師：82 名 保健師：169 名 管理栄養士：47 名 看護師：1 名
第 67 回	2023 年 1 月 27 日（金）～2 月 13 日（月）	411 名	医師：100 名 保健師：249 名 管理栄養士：91 名 看護師：1 名

【2022 年度 プログラム】

『特定健診・特定保健指導の近況と今後の動向』  
 『コロナ禍における生活習慣の変化に関するエビデンス』 食生活編・身体活動編・喫煙飲酒編  
 『高尿酸血症について～最近の治療動向も含めて～』

『事例検討』（演習テーマ：テレワークが主流になった方への保健指導）  
 （事例提供）

- ・ワーク 1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
- ・ワーク 2 対象者への支援方法について
- ・事例における食生活に関するポイント講義
- ・事例における身体活動・運動に関するポイント講義
- ・事例における喫煙に関するポイント講義
- ・事例のその後と演習のまとめ

3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成

認定対象（医師、保健師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師）  
 参加登録者：230 名

●第5回遺伝学的検査アドバイザー研修会（第63回日本人間ドック学会学術大会特別企画）

配信期間：2022年9月12日(月)～30日(金)

方法：現地開催、オンデマンド配信

プログラム

1. 全ゲノムドックの先進的取り組み
  - ①筑波大学での実践状況
  - ②順天堂大学での実践状況
2. 多因子疾患の遺伝学的検査と予防医学への応用：NTT 東日本関東病院での運用経験。  
 講演及び結果説明のロールプレイ提示

## (収益事業等)

### VIII. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業

#### 1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2023年3月末現在の指定施設は、一日ドックのみ176施設、一日ドック・二日ドック両方182施設である。

#### 2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業

○令和4年度特定健康診査・特定保健指導集合契約A参加保険者及び参加健診施設

- ◆健康保険組合連合会
  - ・北海道新聞社健康保険組合 他
- ◆全国健康保険協会（協会けんぽ）
- ◆一般社団法人共済組合連盟（国家公務員共済組合）  
衆議院共済組合・参議院共済組合・厚生労働省共済組合・裁判所共済組合  
会計検査院共済組合・厚生労働省第二共済組合・林野庁共済組合・日本郵政共済組合
- ◆一般社団法人地方公務員共済組合協議会（地方公務員共済組合）  
地方職員共済組合・公立学校共済組合・警察共済組合  
東京都職員共済組合等の市町村職員共済組合 他
- ◆日本私立学校振興・共済事業団
- ◆全国土木建築国民健康保険組合
- ◆全国建設工事業国民健康保険組合
- ◆全国歯科医師国民健康保険組合
- ◆近畿税理士国民健康保険組合
- ◆岡山県建設国民健康保険組合
- ◆福島県

○集合契約A参加健診施設数

- ・日本人間ドック学会 1,295 施設
- ・日本病院会 404 施設

#### 3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約

2023年3月末現在の契約参加施設は、1,222施設である。

#### 4. 新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託集合契約

2023年3月末現在の契約参加施設は、83施設である。

### IX. その他の事業(相互扶助等事業)

#### 1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

2018年度より新規事業として、人間ドックの有用性に関するエビデンス作りを目指す考えから学術委託研究を公募しており、2022年度は3研究を採用。



# 決算報告

2023年3月31日 現在

## 貸借対照表

2023年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	224,837,167	216,134,279	8,702,888
未収金	1,898,362	946,730	951,632
前払金	8,584,935	6,633,495	1,951,440
立替金	176,708	0	176,708
貯蔵品	5,324,000	6,352,500	△ 1,028,500
流動資産合計	240,821,172	230,067,004	10,754,168
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的保有特定資産	100,000,000	100,000,000	0
特定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) その他固定資産			
建物	943,489	1,096,064	△ 152,575
什器備品	6,147,558	6,828,016	△ 680,458
ソフトウェア	132,000	237,600	△ 105,600
その他固定資産合計	7,223,047	8,161,680	△ 938,633
固定資産合計	107,223,047	108,161,680	△ 938,633
資産合計	348,044,219	338,228,684	9,815,535
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	4,067,314	1,715,150	2,352,164
未払消費税等	0	2,241,100	△ 2,241,100
前受金	12,420,000	9,020,000	3,400,000
預り金	442,681	719,117	△ 276,436
賞与引当金	3,733,181	3,172,237	560,944
流動負債合計	20,663,176	16,867,604	3,795,572
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,578,907	6,291,033	△ 3,712,126
固定負債合計	2,578,907	6,291,033	△ 3,712,126
負債合計	23,242,083	23,158,637	83,446
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	253,717,323	243,985,234	9,732,089
一般正味財産合計	253,717,323	243,985,234	9,732,089
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
正味財産合計	324,802,136	315,070,047	9,732,089
負債及び正味財産合計	348,044,219	338,228,684	9,815,535

貸借対照表内訳表

2023年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金	2,541,770	2,986,667	219,308,730	0	224,837,167
未収金	860,410	679,961	357,991	0	1,898,362
前払金	8,250,748	20,917	313,270	0	8,584,935
立替金	0	0	176,708	0	176,708
貯蔵品	5,324,000	0	0	0	5,324,000
流動資産合計	16,976,928	3,687,545	220,156,699	0	240,821,172
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	0	0	100,000,000
特定資産合計	100,000,000	0	0	0	100,000,000
(2) その他固定資産					
建物	825,553	58,968	58,968	0	943,489
什器備品	1,553,236	0	4,594,322	0	6,147,558
ソフトウェア	132,000	0	0	0	132,000
長期預け金	0	0	71,143,781	△ 71,143,781	0
その他固定資産合計	2,510,789	58,968	75,797,071	△ 71,143,781	7,223,047
固定資産合計	102,510,789	58,968	75,797,071	△ 71,143,781	107,223,047
資産合計	119,487,717	3,746,513	295,953,770	△ 71,143,781	348,044,219
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	3,941,152	63,000	63,162	0	4,067,314
前受金	12,420,000	0	0	0	12,420,000
預り金	326,682	10,854	105,145	0	442,681
賞与引当金	3,401,343	124,439	207,399	0	3,733,181
流動負債合計	20,089,177	198,293	375,706	0	20,663,176
2. 固定負債					
退職給付引当金	2,349,670	85,964	143,273	0	2,578,907
長期預り金	71,084,813	58,968	0	△ 71,143,781	0
固定負債合計	73,434,483	144,932	143,273	△ 71,143,781	2,578,907
負債合計	93,523,660	343,225	518,979	△ 71,143,781	23,242,083
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 基金					
基金 (うち特定資産への充当額)	0	0	71,084,813	0	71,084,813
2. 指定正味財産					
受取寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	25,964,057	3,403,288	224,349,978	0	253,717,323
一般正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	25,964,057 (100,000,000)	3,403,288 (0)	224,349,978 (0)	0 (0)	253,717,323 (100,000,000)
正味財産合計	25,964,057	3,403,288	295,434,791	0	324,802,136
負債及び正味財産合計	119,487,717	3,746,513	295,953,770	△ 71,143,781	348,044,219

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用収益	5,000	0	5,000
特定資産受取利息	5,000	0	5,000
受取会費	116,664,000	114,636,000	2,028,000
個人会員受取会費	62,364,000	61,086,000	1,278,000
施設会員受取会費	53,310,000	52,680,000	630,000
賛助会員受取会費	990,000	870,000	120,000
事業収益	192,096,500	156,696,000	35,400,500
学術大会参加収益	47,412,000	42,455,000	4,957,000
学術大会展示出店料収益	22,836,000	2,090,000	20,746,000
学術大会共催セミナー収益	13,090,000	5,610,000	7,480,000
認定医・専門医研修会事業収益	29,600,000	25,890,000	3,710,000
専門医試験・認定事業収益	6,994,000	5,890,000	1,104,000
認定医認定・更新事業収益	8,050,000	6,930,000	1,120,000
情報管理指導士研修認定事業収益	39,651,000	45,409,000	△ 5,758,000
遺伝的検査アドバイザー事業収益	1,200,000	1,820,000	△ 620,000
機能評価審査・認定事業収益	20,750,000	17,370,000	3,380,000
指定事業収益	1,025,500	2,380,000	△ 1,354,500
雑誌販売事業収益	1,488,000	852,000	636,000
受取補助金等	3,000,000	0	3,000,000
受取補助金	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	1,625,000	500,000	1,125,000
受取寄付金	1,625,000	500,000	1,125,000
雑収益	12,583,146	9,565,478	3,017,668
受取利息	1,189	10,345	△ 9,156
広告掲載料収益	5,719,000	2,837,000	2,882,000
雑収益	6,862,957	6,718,133	144,824
経常収益計	325,973,646	281,397,478	44,576,168
(2) 経常費用			
事業費	281,110,999	202,706,306	78,404,693
給料手当	44,439,807	51,289,438	△ 6,849,631
法定福利費	6,713,755	8,352,577	△ 1,638,822
退職給付費用	3,059,736	2,291,909	767,827
旅費交通費	19,498,565	4,187,866	15,310,699
通信運搬費	13,091,779	12,149,891	941,888
減価償却費	409,413	249,699	159,714
消耗品費	4,322,191	3,594,508	727,683
印刷製本費	36,101,681	30,927,755	5,173,926
光熱水料費	790,682	553,293	237,389
賃借料	29,271,690	7,696,580	21,575,110
会議費	1,777,816	39,390	1,738,426
諸謝金	14,281,669	12,992,780	1,288,889
租税公課	4,390,700	6,927,406	△ 2,536,706
委託費	99,079,302	58,113,743	40,965,559
支払助成金	2,250,000	2,980,000	△ 730,000
雑費	1,632,213	359,471	1,272,742
管理費	35,130,558	33,856,268	1,274,290
給料手当	3,114,106	3,017,026	97,080
法定福利費	394,927	491,328	△ 96,401
退職給付費用	179,984	180,606	△ 622
福利厚生費	508,460	688,110	△ 179,650
旅費交通費	6,838,404	2,310,716	4,527,688
通信運搬費	3,029,213	2,451,363	577,850
減価償却費	2,843,540	2,644,182	199,358
広告費	2,486,000	12,100,000	△ 9,614,000
消耗品費	1,890,156	1,356,815	533,341
印刷製本費	1,395,524	862,640	532,884
光熱水料費	46,510	32,546	13,964
賃借料	1,141,290	600,490	540,800
会議費	415,668	32,000	383,668
保険料	397,257	332,785	64,472
諸謝金	25,000	0	25,000
租税公課	72,330	964,230	△ 891,900
委託費	9,676,299	4,783,433	4,892,866
渉外費	39,480	0	39,480
雑費	636,410	1,007,998	△ 371,588
経常費用計	316,241,557	236,562,574	79,678,983
当期経常増減額	9,732,089	44,834,904	△ 35,102,815
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	1	△ 1
固定資産売却損	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	9,732,089	44,834,903	△ 35,102,814
一般正味財産期首残高	243,985,234	199,150,331	44,834,903
一般正味財産期末残高	253,717,323	243,985,234	9,732,089
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	324,802,136	315,070,047	9,732,089

正味財産増減計算書内訳表

自 2022 年 4 月 1 日  
至 2023 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位:円)

I. 一般正味財産増減の部	科目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	内部取引 控除	合計	
		①学術大会・国際学会	②学会誌	③技能検定・資格認定(認定医・専門医・機能評	④資格付与(情報管理・遺伝学的検査アドバイザー)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定	②その他事業	共通				小計
<b>【1. 経常増減の部】</b>															
<b>(1) 経常収益</b>															
1. 特定資産運用益	1601 特定資産受取利息	0	0	0	0	0	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000
2. 受取会費	1101 個人会員受取会費	0	0	0	0	0	31,182,000	31,182,000	0	2,341,116	0	2,341,116	28,840,884	0	62,364,000
	1102 施設会員受取会費	0	0	0	0	0	26,655,000	26,655,000	1,281,538	0	0	1,281,538	25,373,462	0	53,310,000
	1103 賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	495,000	495,000	0	0	0	0	495,000	0	990,000
3. 事業収益	1201 学術大会参加収益	47,412,000	0	0	0	0	0	47,412,000	0	0	0	0	0	0	47,412,000
	1202 学術大会展示出店料収益	22,836,000	0	0	0	0	0	22,836,000	0	0	0	0	0	0	22,836,000
	1203 学術大会共催セミナー収益	13,090,000	0	0	0	0	0	13,090,000	0	0	0	0	0	0	13,090,000
	1204 認定医・専門医研修会事業収益	0	0	29,600,000	0	0	0	29,600,000	0	0	0	0	0	0	29,600,000
	1205 専門医試験・認定事業収益	0	0	6,994,000	0	0	0	6,994,000	0	0	0	0	0	0	6,994,000
	1206 認定医認定・更新事業収益	0	0	8,050,000	0	0	0	8,050,000	0	0	0	0	0	0	8,050,000
	1207 情報管理指導士研修認定事業収益	0	0	0	39,651,000	0	0	39,651,000	0	0	0	0	0	0	39,651,000
	1208 遺伝学的検査アドバイザー事業収益	0	0	0	1,200,000	0	0	1,200,000	0	0	0	0	0	0	1,200,000
	1209 機能評価審査・認定事業収益	0	0	20,750,000	0	0	0	20,750,000	0	0	0	0	0	0	20,750,000
	1210 指定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	1,025,500	0	0	1,025,500	0	0	1,025,500
	1211 雑誌販売事業収益	576,000	38,000	874,000	0	0	0	1,488,000	0	0	0	0	0	0	1,488,000
	1212 国際人間ドック会議会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取補助金等	1301 助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1302 補助金	3,000,000	0	0	0	0	0	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
5. 受取寄付金	1401 受取寄付金	1,625,000	0	0	0	0	0	1,625,000	0	0	0	0	0	0	1,625,000
	1402 受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 雑収益	1501 受取利息	287	0	0	0	0	0	287	0	0	0	0	902	0	1,189
	1502 広告掲載料収益	4,587,000	1,132,000	0	0	0	0	5,719,000	0	0	0	0	0	0	5,719,000
	1503 雑収益	0	302,944	586,000	0	2,000,000	0	2,888,944	3,740,813	0	0	3,740,813	233,200	0	6,862,957
[経常収益計]		93,126,287	1,472,944	66,854,000	40,851,000	2,000,000	58,337,000	262,641,231	6,047,851	2,341,116	0	8,388,967	54,943,448	0	325,973,646
<b>(2) 経常費用</b>															
1. 事業費	2101 給料手当	2,614,106	1,045,643	27,186,706	10,456,425	1,568,463	0	42,871,343	1,568,464	0	0	1,568,464	0	0	44,439,807
	2102 法定福利費	394,927	157,971	4,107,238	1,579,707	236,956	0	6,476,799	236,956	0	0	236,956	0	0	6,713,755
	2103 退職給付費用	179,985	71,994	1,871,838	719,938	107,990	0	2,951,745	107,991	0	0	107,991	0	0	3,059,736
	2104 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2105 旅費交通費	4,992,169	690,686	9,611,580	945,480	353,020	2,880,670	19,473,605	0	24,960	0	24,960	0	0	19,498,565
	2106 通信運搬費	1,247,875	7,258,560	1,713,182	2,108,988	542,650	172,524	13,043,779	0	48,000	0	48,000	0	0	13,091,779
	2107 減価償却費	8,477	3,391	88,155	139,506	164,799	0	404,328	5,085	0	0	5,085	0	0	409,413
	2108 貯蔵品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2109 消耗品費	1,990,316	2,199,459	63,010	50,146	19,260	0	4,322,191	0	0	0	0	0	0	4,322,191
	2110 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2111 印刷製本費	5,493,368	18,829,636	6,160,670	5,519,667	18,921	0	36,022,262	79,419	0	0	79,419	0	0	36,101,681
	2112 光熱水料費	46,511	18,605	483,711	186,043	27,906	0	762,776	27,906	0	0	27,906	0	0	790,682
	2113 賃借料	18,360,540	1,357,807	5,700,967	1,673,320	276,298	1,651,760	29,020,692	250,998	0	0	250,998	0	0	29,271,690
	2114 会議費	1,498,717	8,753	19,480	39,971	17,603	193,292	1,777,816	0	0	0	0	0	0	1,777,816
	2115 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2116 諸謝金	3,516,103	1,560,000	5,725,566	2,710,000	770,000	0	14,281,669	0	0	0	0	0	0	14,281,669
	2117 租税公課	1,868,413	31,097	1,411,406	862,436	42,223	0	4,215,575	175,125	0	0	175,125	0	0	4,390,700
	2118 委託費	60,625,321	10,745,147	7,605,517	15,972,001	990,902	3,116,660	99,055,548	8,403	15,351	0	23,754	0	0	99,079,302
	2119 支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	2,250,000	0	2,250,000	0	0	2,250,000
	2120 雑費	1,286,648	114,465	103,475	16,830	27,390	80,435	1,629,243	165	2,805	0	2,970	0	0	1,632,213
2. 管理費	2201 給料手当												3,114,106	0	3,114,106
	2202 法定福利費												394,927	0	394,927
	2203 退職給付費用												179,984	0	179,984
	2204 福利厚生費												508,460	0	508,460
	2205 旅費交通費												6,838,404	0	6,838,404

2206	通信運搬費												3,029,213	0	3,029,213
2207	減価償却費												2,843,540	0	2,843,540
2208	広告費												2,486,000	0	2,486,000
2209	消耗品費												1,890,156	0	1,890,156
2210	修繕費												0	0	0
2211	印刷製本費												1,395,524	0	1,395,524
2212	光熱水料費												46,510	0	46,510
2213	賃借料												1,141,290	0	1,141,290
2214	会議費												415,668	0	415,668
2215	保険料												397,257	0	397,257
2216	諸謝金												25,000	0	25,000
2217	租税公課												72,330	0	72,330
2218	委託費												9,676,299	0	9,676,299
2219	渉外費												39,480	0	39,480
2220	雑費												636,410	0	636,410
[経常費用計]		104,123,476	44,093,214	71,852,501	42,980,458	4,394,381	8,865,341	276,309,371	2,460,512	2,341,116	0	4,801,628	35,130,558	0	316,241,557
■評価損益等調整前当期経常増減額		△ 10,997,189	△ 42,620,270	△ 4,998,501	△ 2,129,458	△ 2,394,381	49,471,659	△ 13,668,140	3,587,339	0	0	3,587,339	19,812,890	0	9,732,089
2810	基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2820	特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2830	投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[評価損益等計]		△ 10,997,189	△ 42,620,270	△ 4,998,501	△ 2,129,458	△ 2,394,381	49,471,659	△ 13,668,140	3,587,339	0	0	3,587,339	19,812,890	0	9,732,089
【当期経常増減額】		△ 10,997,189	△ 42,620,270	△ 4,998,501	△ 2,129,458	△ 2,394,381	49,471,659	△ 13,668,140	3,587,339	0	0	3,587,339	19,812,890	0	9,732,089
<b>【2. 経常外増減の部】</b>															
<b>(1) 経常外収益</b>															
※固定資産売却益	1910	資産売却益・資産受贈益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[経常外収益計]			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>(2) 経常外費用</b>															
※固定資産売却損	2910	資産売却損・資産減損損失等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[経常外費用計]			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額			△ 10,997,189	△ 42,620,270	△ 4,998,501	△ 2,129,458	△ 2,394,381	49,471,659	△ 13,668,140	3,587,339	0	3,587,339	19,812,890	0	9,732,089
■他会計振替額	1990		0	0	0	0	14,982,273	14,982,273	△ 3,587,339	0	0	△ 3,587,339	△ 11,394,934	0	0
【当期一般正味財産増減額】			△ 10,997,189	△ 42,620,270	△ 4,998,501	△ 2,129,458	△ 2,394,381	64,453,932	1,314,133	0	0	0	8,417,956	0	9,732,089
【一般正味財産期首残高】			△ 81,550,042	△ 485,774,676	△ 123,701,645	△ 89,446,268	△ 174,834,937	979,957,492	24,649,924	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	215,932,022	243,985,234
【一般正味財産期末残高】			△ 92,547,231	△ 528,394,946	△ 128,700,146	△ 91,575,726	△ 177,229,318	1,044,411,424	25,964,057	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	224,349,978	253,717,323

## II. 指定正味財産増減の部

	受取補助金等												0	0	0
	.....												0	0	0
	一般正味財産への振替額												0	0	0
[当期指定正味財産増減額]			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【指定正味財産期首残高】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【指定正味財産期末残高】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## III. 基金増減の部

■基金受入額	基金受入額														
■基金返還額	基金返還額														
[基金増減額]															
【基金期首残高】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,084,813	71,084,813	
【基金期末残高】			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,084,813	71,084,813	

【IV正味財産期末残高】			△ 92,547,231	△ 528,394,946	△ 128,700,146	△ 91,575,726	△ 177,229,318	1,044,411,424	25,964,057	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	295,434,791	324,802,136
--------------	--	--	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	------------	------------	-------------	---	-----------	-------------	-------------

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

建物

定率法(ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備は定額法)

什器備品

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物

15年

什器備品

4年～10年

##### ② 無形固定資産

ソフトウェア

定額法

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に対応する額を計上している。

##### ② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

### 2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	0	100,000,000
合計	100,000,000	0	0	100,000,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
特定資産				
公益目的保有特定資産	100,000,000	—	100,000,000	—
合計	100,000,000	—	100,000,000	—

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,906,000	1,962,511	943,489
什器備品	12,714,836	6,567,278	6,147,558
合計	15,620,836	8,529,789	7,091,047

- 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 千葉県ハイブリッド型 MICE開催促進補助金	千葉県	0	3,000,000	3,000,000	0	
合計		0	3,000,000	3,000,000	0	

- 6 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
 基金及び代替基金の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金	71,084,813	0	0	71,084,813
基金計	71,084,813	0	0	71,084,813
合計	71,084,813	0	0	71,084,813



# 財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金	振替貯金 ：ゆうちょ銀行(9口座)	支払資金として使用	55,361,512		
		普通預金 ：三井住友銀行麹町支店(3口座)	支払資金として使用	129,412,279		
		定期預金 ：三井住友銀行麹町支店		30,063,376		
		定額貯金 ：ゆうちょ銀行		10,000,000		
	未収金	特定健診パンフレット・DVD著作権料 還付消費税 その他		659,471 878,900 359,991		
	前払金	翌年度事務所賃料		627,495		
		翌年度学術大会前払額		5,000,000		
		翌年度研修・試験会場費等 翌年度その他経費		2,587,750 369,690		
	立替金	職員住民税等立替		176,708		
	貯蔵品	機能評価認定プレート		5,324,000		
流動資産合計				240,821,172		
(固定資産)	特定資産	公的目的保有特定資産	定期預金：大和テキスト銀行	運用益を公的目的事業財源として使用している (公益目的保有財産)	100,000,000	
	その他固定資産	建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室(共用財産) 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用	943,489	
			什器備品	ノートパソコン 6台	公益目的事業管理用PC(公益目的保有財産)	1,553,236
				パーソナルコンピューター関連 プリンター・複合機 3台	会員管理・事業管理用	2,447,361
				Web会議用備品一式	会員管理・事業管理用	1,032,716
プロジェクター	会員管理・事業管理用	46,310				
電話設備	会員管理・事業管理用	30,413				
ソフトウェア		公益目的事業管理ソフト (公益目的保有財産)	1,037,522			
132,000						
固定資産合計				107,223,047		
資産合計				348,044,219		
(流動負債)	未払金	経費等未払額		4,067,314		
	前受金	次年度事業前受金		12,420,000		
	預り金	社会保険料		325,626		
		その他		117,055		
賞与引当金	職員に対するもの	職員の翌年度賞与支給見込額のうち当期対応額	3,733,181			
流動負債合計				20,663,176		
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	2,578,907		
固定負債合計				2,578,907		
負債合計				23,242,083		
正味財産				324,802,136		

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記2に記載している通りである。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
賞与引当金	3,172,237	3,733,181	3,172,237	0	3,733,181	
退職給付引当金	6,291,033	1,295,720	5,007,846	0	2,578,907	